

先日高尾山の登山道(自然観察路3号路)で見かけました 沢沿いの崖がくずれたような場所で 活発に動き回っていました「ミソサザイ」は 日本産カラ類最小の「ヒガラ」よりも更に小さく 日本の野鳥では最小クラスです 体重も10グラム前後しかありませんが その割には澄んだ大きな鳴き声を出します あんなに近くで見たのは初めてでした



これが完成した絵です



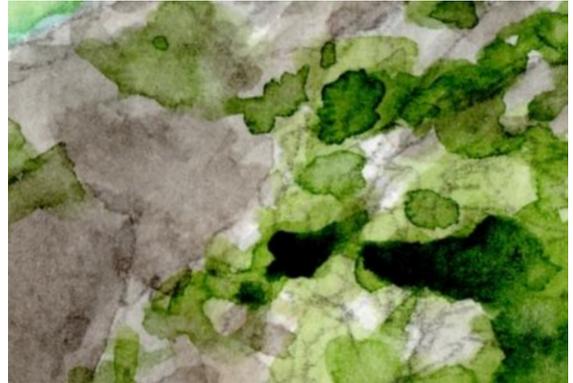
1、下絵は丁寧に描きます ヒトの顔と同じで 動物—特に鳥類は まず輪郭が非常に重要です あとは目の位置と大きさです



4、少しずつ色を重ね すべてのものに 少しずつ立体感を出していきます 主題の野鳥だけを 最初から丁寧に描こうと思わないこと



2、背景から描きます 空と緑の木々をイメージしましたが 全体にぼかして はっきりとした「もの」としては描きませんでした



5、岩の上の「コケ」は非常に難しい「サブグリーン」と「シャドウグリーン」を重ねて「コケらしく」していきます



3、主題のミソサザイ とまり木 そして岩を まずは「近い色」を薄く塗っておきます 最初は立体感を無視して 面的に塗っておきます



6、どんな動物や野鳥でも やはり顔が重要です 特に目の位置と大きさを誤ると 別の野鳥になってしまいます